取扱説明書	BD－244RA <YG1603R> BD－244RA4 <YG1603RG> BD－244RA7 <YG1603RU>	571 571 571	8500 6501 4502	13011

ガス給湯暖房機

型式名 YG1603R YG1603RG
YG1603RQ YG1603RM
YG1603RU

取扱説明書

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

このたびは、ガス給湯暖房機を
お求めいただきまして、
まことにありがとうございます。

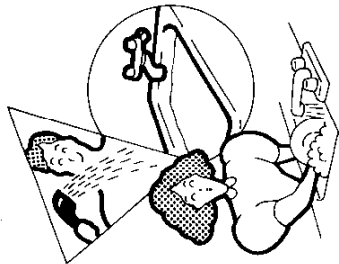
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

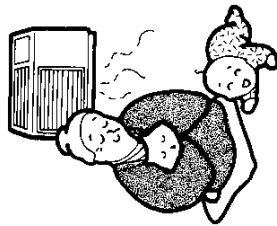
もくじ

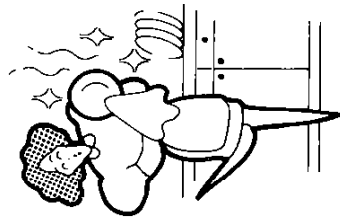
取扱説明書	BD－244RA <YG1603R> BD－244RA₄ <YG1603RG> BD－244RA₇ <YG1603RU>	571 571 571	8500 6501 4502	13021

特長・機能のご紹介

冬場でもうれしい 安定出湯・安定湯温

比例制御のはたらきにより、水圧変動に対しても安定した湯温が得られます。

部屋の空気を汚さない クリーン暖房

暖房は、温水を使用しますので、お部屋の空気を汚すことなくクリーンな暖房が得られます。

給湯も、暖房も 簡単操作で自動運転

給湯は給湯栓を開くだけ、暖房はお部屋の放熱器の運転スイッチを入れるだけの簡単な操作で自動的に運転をはじめます。

必ずお守りください

設置・工事される前に

使用ガスの確認

❶銘板に表示してあるガスの種類およびガスグループ以外では、使用しないでください。
❷銘板はフロントカバー下部に貼っています。
❸銘板に表示してあるガスと、設置先の使用ガスが一致していることをご確認ください。

使用電源の確認

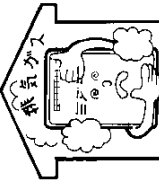
熱源機はAC100V用です。銘板に表示してある電源と一致しているか確かめてください。

（銘板）

【外壁用又は屋外用】→ 設置
【使用ガスの確認】→ ガスの種類およびグループ
【使用電源の確認】→ 使用電源

型式名
設置
ガスの種類およびグループ
ガス消費量
使用電源
消費電力
製造番号
製造業者名

取付場所について

● 壁、その他の可燃物から十分離れている場所で使用してください。
● 屋外設置型は、屋内には絶対取付けないでください。
排気ガスが充満して危険です。

また、屋内設置型は、屋内専用機器です。屋外には絶対取付けないでください。

本器の用途について

● 給湯と暖房がおのおの独立してお使いいただけます。
これ以外の用途には使用しないでください。

補助用具について

● この熱源機の標準付属品・指定の別売部品以外は使用しないでください。不完全燃焼などの原因になります。

設置・工事について

● この熱源機の据えつけには設置・工事が必要です。お買上げの販売店、またはガス会社に依頼し、安全な場所に正しく設置してください。
● 屋外設置の場合、増改築などによって屋内状態にしないでください。また、波板などによって囲いなどもしないでください。

取扱説明書			
BD−244RA	<YG1603R>	571	8500
BD−244RA4	<YG1603RG>	571	6501
BD−244RA7	<YG1603RU>	571	4502

13031

ガス漏れ・やけど・火災・故障などを防ぐために

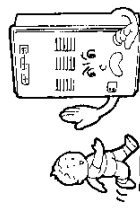
火災予防について

●熱源機の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。

やけどの注意

❶使用中、または使用直後しばらくは排気口やその周囲があつくなっていますので、熱源機にはふれないでください。

❷2箇所で同時使用されますと、ぬるくなったり、湯量や湯温がかわる場合があります。シャワー使用中は、特に注意してください。

❸シャワーなど使用後すぐに再度お使いになるときは、手で湯温を確認してからお使いください。（一瞬熱いお湯が出ることがありますのでご注意ください。）

凍結予防について

●冬期は、寒冷地だけでなく、暖かい地方でも急な寒波のため熱源機および配管内の水が凍って、熱源機や配管を破損する場合があります。

★詳しくは10、11ページをお読みください。

熱源機のランプ確認

●使用中の点火、使用後の消火が正しく行われているかときどき熱源機のランプ（運転中は赤色点灯、消火時は消灯）を確かめてください。

ガス事故防止

❶お使いにならないときや、長期間お出かけになるときは、ガス栓を必ず閉めてください。

❷ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガス栓を閉め、お買求めの販売店、またはガス会社にご連絡ください。

❸万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、換気扇その他電気器具に触れたり（スイッチの入、切や電源プラグの抜き差しなど）しないでください。

必ずお守りください

長期間使用しない場合

●ガス栓を閉じ、水抜きを行ってください。（11ページ参照）

点検・お手入れ

●点検・お手入れは、必ず行ってください。

★詳しくは12ページをお読みください。

たまった水は飲まないで

●熱源機内に長時間たまっていた水は、飲用または調理に用いないでください。

使用中の異常について

●使用中にふだんと違った状態になったときや、地震・火災などの場合には①電源プラグを抜く②ガス栓を閉めるなどの処置をしてください。

排水処理について

●他に支障のない所へ排水処理をしてください。

暖房使用時

停電時

●運転は停止します。再通電すると運転を再開（放熱器により異なります。）しますが、停電中は念のため放熱器の運転スイッチを「切」にしてください。

断水時

●そのまま使用できます。

ガスの供給が停止した時

●運転は停止します。ガスの供給が再開されても運転はしません。いったん放熱器の運転スイッチを「切」にし、ガスの供給が再開された後、放熱器の運転スイッチを入れてください。

給湯使用時

停電時

●運転は停止しますが、水はそのまま出ますので、給湯栓を閉めてください。
再通電すると給湯栓を開けるだけで使用できます。

断水時

●運転は停止しますが、再通水すると自動的に点火しますので、給湯栓は閉めてください。

ガスの供給が停止した時

●運転は停止します。ガスの供給が再開されても運転はしません。ガスの供給が再開されるまで給湯栓を閉めてください。

各部のなまえと扱いかた

給湯燃焼ランプ（赤色）

給湯のバーナーが燃焼しているとき点灯します。

暖房燃焼ランプ（赤色）

暖房のバーナーが燃焼しているとき点灯します。

給水水抜き栓

熱源機の水抜き時および、水フィルター掃除時に使用します。

給湯水抜き栓

熱源機の水抜き時に使用します。

使いかた　操作前の準備と確認

操作前の準備と確認

1 給水元栓を全開にする

● 熱源機下部 の給水元栓を全開にしてください。

2 給湯栓を開け、水の出ることを確認後、閉める。

● お湯の使用場所 の給湯栓を開け、水の出ることを確認してから閉めてください。

3 ガス栓を全開にする

● 熱源機下部 のガス栓を全開にしてください。

4 熱源機用ブレーカを「入」にする

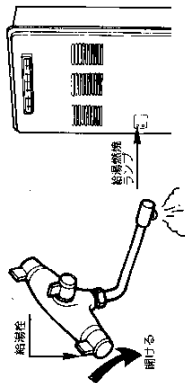
● 屋内の分電盤 の熱源機用のブレーカを「入」にしてください。

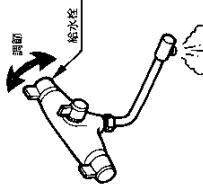
取扱説明書	BD－244RA　<YG1603R> BD－244RA4 <YG1603RG> BD－244RA7 <YG1603RU>	571 571 571	8500 6501 4502	13051

給湯の使いかた

お湯の出しかた(点火操作)

1 給湯栓を開ける

●点火し、給湯燃焼ランプが赤色に点灯します。
※出湯した直後には少し熱いお湯が出ることがありますので、出はじめのお湯には手を触れないでください。

2 温度調節する

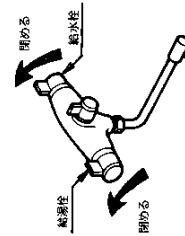
●熱源機は60℃の湯が出るよう調節してあります。給湯栓・給水栓でお好みの温度に調節してください。

●2箇所使用するときは湯温の変化に気をつけて

2箇所で同時使用されますと、ぬるくなったり、湯温が少なくなったり、湯温が変化することがあります。シャワー使用中はとくにご注意ください。

シャワーを使用する前には湯温を確かめてください。

お湯の止めかた(消火操作)

3 給湯栓・給水栓を閉める

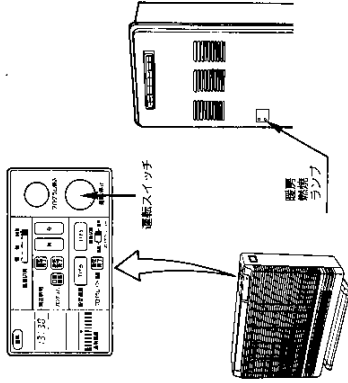
●消火し、給湯燃焼ランプが消灯します。
※ご使用にならないときや、長期間お出かけの際には、ガス栓を閉めてください。

暖房の使いかた

暖房の使いかた

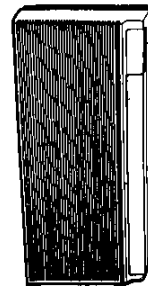
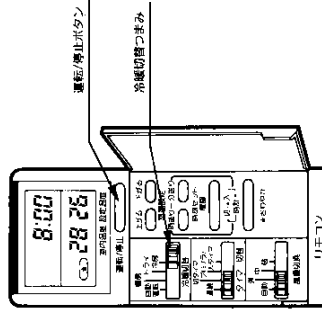
1 運転

放熱器の場合

●運転スイッチを入れる。
・暖房を開始します。
・燃焼中は熱源機の暖房燃焼ランプ(赤色)が点灯します。

※放熱器には、いろいろ種類があります。
それぞれの説明書に従って操作してください。

エアコン暖房運転の場合

❶リモコンの冷暖切替つまみを「暖房」にする。
❷リモコンの「運転/停止ボタン」を押します。
・エアコン室内機の運転ランプが点灯します。

※エアコン室内機には、いろいろ種類があります。
それぞれの説明書に従って操作してください。

2 温度を調節する

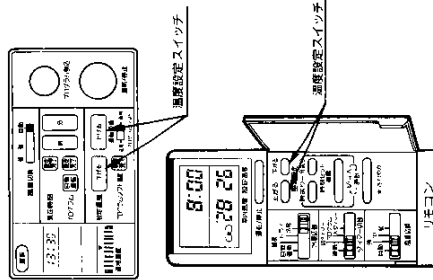
放熱器の場合

・放熱器の温度設定スイッチで調節。

エアコンの場合

・リモコンの温度設定スイッチで調節。

温度設定スイッチ

温度設定スイッチ

リモコン

3 暖房の止めかた

放熱器の場合

●放熱器の運転スイッチを「切」にする。
・運転を停止し、放熱器の運転ランプが消灯します。

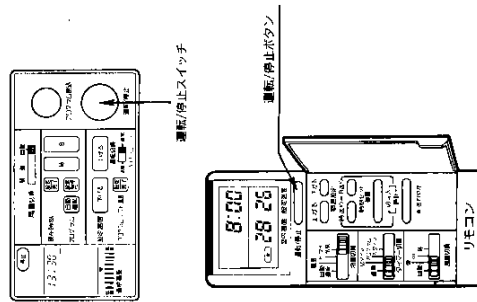
運転/停止スイッチ

エアコンの場合

●リモコンの「運転/停止ボタン」を押します。
・運転を停止し、エアコンの運転ランプが消灯します。

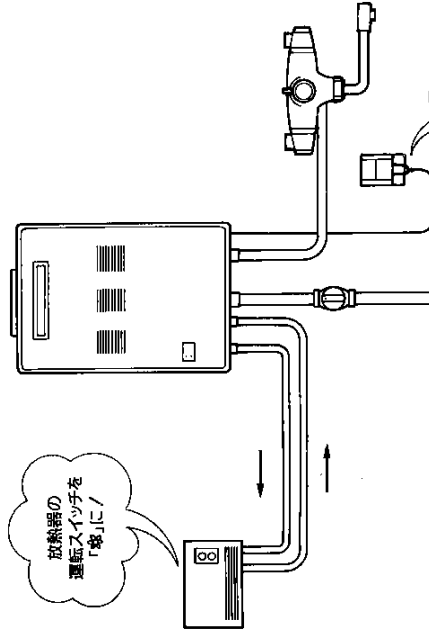
運転/停止ボタン

リモコン

凍結予防のしかた

寒波がきたら凍結に注意（電源プラグは抜かないで）

冬期は急な寒波のために、熱源機および給湯・暖房配管内の水が凍結し、破損する場合があります。熱源機の凍結予防運転のため、電源プラグは抜かないでください。

凍結予防操作は給湯側と暖房側の両方必要

この熱源機は、給湯用と暖房用の2つの熱交換器を内蔵しています。
凍結予防操作は給湯側・暖房側の両方で行ってください。

通常は凍結予防ヒーターが作動し、凍結予防運転を行います。

ご注意 ●凍結したときは、とけるのを待ってから（7ページ）の「お湯の出しかた・止めかた」により ①水の出ること ②水漏れのないこと ③作動に異常のないことを確かめてからご使用ください。熱源機や配管が破損しますと、高額の修理費用がかかる場合があります。(有料)

点検・お手入れ

水抜きのしかた（給湯側）

● 通常は凍結予防ヒーターが作動し凍結予防運転を行います。
● 長期不在の場合や異常低温注意報が出た場合、念のため下記の手順で水抜きをしてください。

❶ガス栓を閉める。
❷給水元栓を閉める。
❸水抜き栓を開ける（2ヶ所）。
❹すべての給湯栓を全開にする。

※❸水抜き栓と、❹給湯栓から水が抜けるのを確かめてください。
※次にお使いになるまで、このままにしておいてください。

● 再びご使用になるときは、水抜き栓（2ヶ所）をしっかり閉めて、（6ページ）の「操作前の準備と確認」の処置を行ってください。
※給湯配管の経路によっては、ここに示す「水抜きのしかた」通りの処置を行っても配管内に水が残ることがあります。
その場合は末端給湯栓から水を流し続ける等の予防処置をとってください。

凍結予防のしかた（暖房側）

● 放熱器の運転スイッチを「凍結予防」に合せる。

※放熱器は、種類によって凍結予防運転の方法が異なるため、それぞれの説明書をお読みください。
※暖房側の凍結予防に不凍液を使用している場合は、適性濃度を保つため、1年に1度点検が必要です。
不凍液のメンテナンス方法については、お買上げの販売店、またはガス会社へお問い合せください。

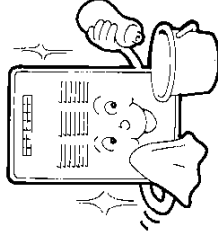
点検

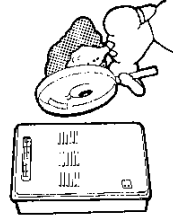
❶ガス臭くはありませんか？
❷水漏れはありませんか？
● 暖房運転をしていないのにオーバーフロー配管から水が連続して流れて止まらないときは、補給水止水栓を右へいっぱいにまわして止水し、メンテナンスを依頼してください。

この穴で水の流れを確かめる
オーバーフロー配管
補給水止水栓
補給水止水栓

❸異常音や排気に不快な臭いはありませんか？
❹熱源機のまわりに燃えやすいものはありませんか？

お手入れ

● 熱源機の表面の汚れは、やわらかい布に台所用中性洗剤をつけてふきとってください。

定期点検のおすすめ

● ご使用上支障がない場合でも、故障や事故を予防し、安心してより良くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。
● 本製品は、一般家庭用の製品です。
業務用にご使用の場合は熱源機を正常にお使いいただくために、定期点検（年2回程度）をお受けください。（有償）
詳しくは、お買求めの販売店、またはガス会社へご相談ください。

ご注意
● 安全に長くご使用いただくために点検、お手入れを必ず行ってください。
● 点検・お手入れの際にはガス栓、給水元栓を閉じて、熱源機が十分冷えてから行ってください。

取扱説明書	BD－244RA ＜YG1603R＞ BD－244RA₄ ＜YG1603RG＞ BD－244RA₇ ＜YG1603RU＞	5:7:1 5:7:1 5:7:1	8:5:0:0 6:5:0:1 4:5:0:2	13081

故障かな?と思ったら

給　湯

燃焼ランプが消えた後も、約7分間は送風機がまわります。これは再使用時の点火をより早くするためで異常ではありません。

水の中の空気が分離して、気ほうとなり、お湯が白くなることがありますが、空気ですので何ら心配はありません。

冬期水温が低くなりますと、湯量が多い場合には、あつい湯が出ないことがあります。このような場合には、湯量を絞ってお使いください。

2ヵ所で同時使用されますと、湯温が変化したり、湯量が少なくなることがあります。特にシャワー使用中の同時使用はやめてください。

給湯栓は絞りすぎないでください。給湯栓を絞りすぎますと、消火して水になります。

給湯栓（特にシングルレバー式）は急に閉めると、音がすることがあります。これは水撃作用(ウォーターハンマー)によるもので故障ではありません。

暖　房

室温が高い場合には、暖房運転スイッチを「入」にしても暖房燃焼ランプ(赤色)が点灯しない場合があります。

気温が低いときは、自動的にポンプがまわりますが、凍結を予防するためで異常ではありません。

暖房シーズンオフ時に、給湯をお使いになると、温水循環用ポンプが約10秒運転することがありますが、ポンプの固着予防のためで異常ではありません。

過圧防止安全装置について

給湯栓を閉じた直後、一時的に給湯水抜き栓から水がポタポタ出ることがありますが、機器内部の圧力をさけるため で異常ではありません。
ただし万だき安全装置が働いたときは、高温の蒸気が噴出しますのでやけどには充分注意してください。

故障かな?と思ったら②

故障かな?と思われたらただちに使用を中止し、一度つぎのことをお調べください。

こんなとき（現象）／調べていただくこと（原因）	寒い日に排気口から湯気が出る	給湯栓を開けても湯が出ない	あつい湯が出ない	途中で水になる	湯温が変化する	給湯燃焼ランプが点滅する	暖房燃焼ランプが点滅する	暖房燃焼ランプが点灯しない	暖房がきかない、またはききがおそい	処置方法	参照ページ
電源プラグが外れている	異常ではありません	●						●	●	コンセントに差し込む	6
ガス栓が閉っている		●				●	●		●	開ける	6
配管内に空気が残っている		●				●	●		●	点火操作を繰り返す	7·8·9
給水元栓が閉っている		●								開ける	6
水圧が適切でない　低い		●		●	●					点検を依頼する（他に原因がないとき）	—
凍結している		●								解凍するまで使用を中止する	10·11
混合水栓の目づまり・サーモ付混合水栓の温度不良		●	●	●	●					点検を依頼する	—
給湯栓の絞りすぎ		●		●	●					開ける	7
能力オーバーしている			●							給湯栓を絞る	13
安全装置が作動した		●		●		●	●	●	●	再操作しても動かないときは点検を依頼する	—
放熱器の故障								●	●	点検を依頼する	—
ポンプの故障									●	点検を依頼する	—
水フィルターの詰り			●	●	●	●				点検を依頼する	—

- このほかに異常があるときや、おわかりにならないときは、お買求めの販売店、またはガス会社へご連絡ください。
- 修理は絶対にお客さまご自身でなさらないでください。不完全な処置は事故のもとになります。

寸法図

YG1603R型

〔単位：mm〕

仕様

品名	ガス給湯暖房機				
型式名	YG1603R	YG1603RG	YG1603RQ	YG1603RM	YG1603RU
設置方式	屋外設置				
	PS標準設置形	扉内設置形	扉内前方排気延長形	扉内後方排気延長形	壁組込設置形
外径寸法	高さ750mm×幅480mm×奥行120mm				
重量	26kg				
給湯最低作動水量	2.5ℓ/min				
給湯最低作動水圧	0.15kgf/cm²				
給湯湯温制御	比例制御(16～2号)・湯温60℃または80℃一定				
暖房温水温度制御	約80℃または約80℃、約70℃、約65℃の3段階(アメドラ対応)				
給湯出湯量	10ℓ/min				
点火方式	連続放電点火式				
電源	AC100V・50Hz/60Hz				
消費電力 最大	82W/88W				
消費電力 凍結予防作動時	135W/141W				
接続 ガス	15A(R1/2)おねじ				
接続 給水	15A(R1/2)おねじ				
接続 給湯	15A(R1/2)おねじ				
接続 暖房	15A(G1/2)おねじ（φ7用樹脂管継手付）				
接続 オーバーフロー	15A(R1/2)おねじ				
接続 電気	CTC31おねじ				
別売品	据置台・配管カバー	扉内設置用取付ボックス			

使用ガスグループ		1時間当たりのガス消費量(kcal/h)			標準出力		
		全ガス消費量	給湯	暖房	給湯（ℓ/min） 25℃上昇	給湯（ℓ/min） 40℃上昇	暖房 (kcal/h)
都市ガス	13A	35,000	30,000	5,000	(16)	(10)	4,000
都市ガス	12A	32,600	28,000	4,650	(14.9)	(9.3)	3,700
都市ガス	5C	29,000	26,000	5,000	(13.9)	(8.7)	4,000
LPガス用		2.92kg/h	2.50kg/h	0.42kg/h	(16)	(10)	4,000

備考・（ ）内の数値は湯水混合栓で混合した時の流量です。

アフターサービスについて

サービスのお申し込み

● **サービス（点検・修理）を依頼される前に**
「故障かな？と思ったら」（13ページ）の項を見て、もう一度ご確認ください。
それでも不具合がある場合は、ご自分で修理なさらないでお買求めの販売店、またはガス会社にご連絡ください。

● **ご連絡の際には次のことをお知らせください。**
1. 製品名…………………ガス給湯暖房機
2. 商品コード…フロントカバー下部に貼付してあります。
3. 現象……………………できるだけ詳しく
4. 道順……………………できるだけ詳しく

転居されるとき

● **ガスの種類の異なる地域へ転居される場合**
ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、お買求めの販売店、またはガス会社にご相談ください。
この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。
ただし、ガスの種類や電気の周波数によっては調整できない場合もあります。

保証・補修について

● **保証期間中は…**
保証書に記載の内容で、熱源機の故障について修理いたします。
保証書を紛失されますと、保証期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

● **保証期間経過後の故障修理について**
お買求めの販売店、またはガス会社にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
この熱源機の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切後10年間です。

機器コード											
5	7	1	8	5	0	0	1	3	1	1	1

ハーマン
BD-244RA 571 8500
BD-244RA4 571 6501
BD-244RA2 571 4502

P L 法対応

屋外設置タイプ

取扱説明書

別冊

特に注意していただきたいこと

- この『取扱説明書・別冊』は、機器を安全に使用していただくために、必ず守らなければならない項目を記載しています。使用前に必ずお読みいただき、内容を十分ご理解のうえ、使用してください。
- また、別添の『取扱説明書』には正しい使用方法を詳しく記載しています。
  別添の『取扱説明書』についても、使用前に必ずお読みいただき、正しく使用してください。

ごあいさつ

このたびは、弊社のガス機器をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
別添の『取扱説明書』および『保証書』、『設置・工事説明書』についても、この『取扱説明書・別冊』と共に大切に手元に保管してください。
本書を紛失された場合や、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

※機器イラストは、実際の機器と異なることがあります。　T858

安全に正しく使用していただくために必ずお読みください。

☆ここに示した注意事項と絵表示は機器を正しく安全に使用していただき、お客様や他の人々への危険や、財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

☆誤った取り扱いにより生じる危害・損害の程度をつぎの三つに区分しています。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる内容を表しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。

※ここでの「人」とは、使用者のみでなく、その家族・来客者も含みます。

☆注意事項の絵表示と意味はつぎのとおりです。

絵表示	意味
(↑)	上記表示項目を守らなかった場合に起こりうる現象を表します。
⚠	一般的な「危険」・「警告」・「注意」
⚠	感電注意
⚠	高温注意
⚠	発火注意
⊘	一般的な禁止
⊘	火気禁止
⊘	分解禁止
⊘	接触禁止
●	必ず行う
●	アース必要
●	電源プラグを抜く

機器コード 5718500 情報番号 13 通し番号 12 訂正 1

■機器の設置について

屋外用機器のため、屋内には絶対に設置しない。

禁止

(↑)不完全燃焼により、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

■ガス漏れ時の処置について

ガス漏れに気付いたときは、右記①～②の処置を行う。
また、絶対に火をつけたり、電気器具(換気扇など)のスイッチの「入・切」や電源プラグの抜き差しおよび、周辺の電話を使用しない。

(↑)火や火花で引火し、火災になるおそれがあります。

① すぐに使用をやめ、機器のガス栓を閉じる。

閉じる

② 販売店または、もよりのガス事業者へ連絡する。

連絡する

※周辺の電話は使用しないでください。

機器コード 5718500013131

⚠ 警　告

■機器の設置について

- 機器の設置・移動および付帯工事は、お買い求めの販売店に依頼し、有資格者による工事を行う。
- 機器の周囲は、障害物・可燃物・開口部から十分離れていることを確認する。
（別添の『設置・工事説明書』参照）

火災、一酸化炭素中毒や思わぬ事故の原因になります。

■使用ガス・電源について

- 必ず銘板(機器前面に貼付)に表示してあるガス(ガスグループ)および電源(電圧・周波数)を使用する。

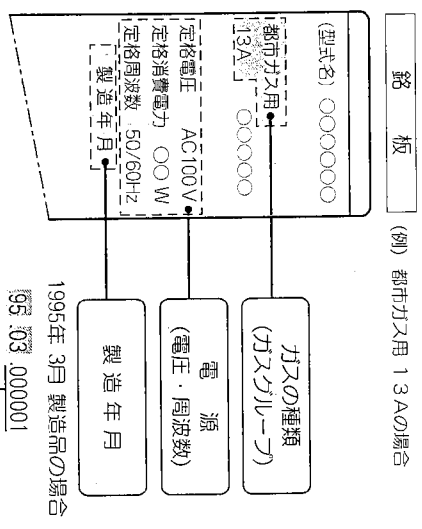
火災、不完全燃焼、爆発点火のおそれや機器の故障の原因になります。

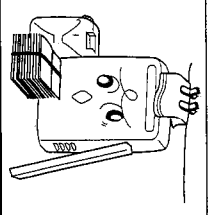
- 転居された場合にも、供給ガスの種類、電源の種類が銘板の表示と一致していることを確認してください。

※ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。

わからない場合やご不明の点があればお買い求めの販売店または、もよりのガス事業者に連絡してください。

確　認

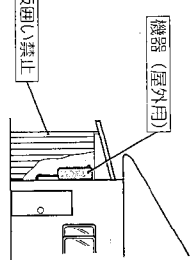
⚠ 警　告

- 機器の周辺や排気トップ周辺に燃えやすい物(洗濯物・新聞紙・木材・スプレー缶・灯油など)を置かない。

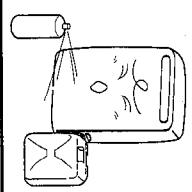
火災のおそれがあります。

- 機器設置後、増改築などによる波板囲いなどで屋内設置状態にしない。

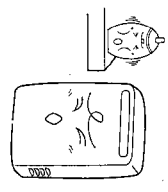
火災・一酸化炭素中毒のおそれがあります。

禁　止

機器（屋外用）

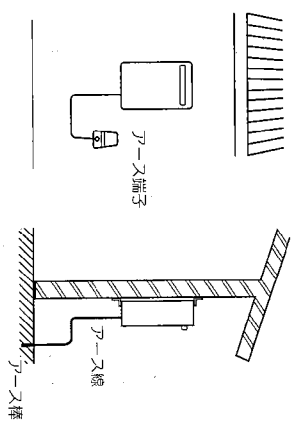
波板囲い禁止

- 機器の近辺でスプレー、ベンジン、灯油など引火のおそれのあるものを使用しない。

火災のおそれや機器の故障の原因になります。

- 機器の周辺にスプレー缶を置かない。

熱でスプレー缶の圧力があがり爆発するおそれがあります。

- この機器はアースが必要なため、アースされているか確認する。
- アース線やアース端子は絶対にはずさない。

感電のおそれや機器の故障の原因になります。

機器コード 5718500 13 14 1

警告

- 使用中に異常燃焼、異常音、臭気など感じられたときや地震、火災などの緊急の場合は次の手順に従ってあわてずすみやかに処置する。
  ① 給湯栓を閉じる。
  ② リモコンの運転スイッチを「切」にする。
  ③ ガス栓・給水元栓を閉じる。

- 給湯およびシャワーを使う場合、再使用時や湯量を急変させた時などに熱いお湯が出ることがあるため、手でお湯の温度を確かめてから使用する。

⚠ やけどのおそれがあります。

- 給湯およびシャワー使用中は、使用者以外は、お湯の温度を変更しない。

⚠ 熱水によるやけどのおそれがあります。

禁　止

注意

- 排気ガスによって、加熱されて困るもの(植木・ペットなど)は、排気トップのそばには置かない。

⚠ 植木が枯れたり、ペットに悪影響をおよぼすおそれがあります。

- 給湯、シャワー、暖房(給湯暖房機のみ)以外の用途に使用しない。

⚠ 思わぬ事故の原因になります。

- 濡れた手で電源プラグをさわらない。

⚠ 感電のおそれがあります。

- 電源プラグのほこりをとる。
- 電源プラグの差し込みは確実に行う。

⚠ 電源プラグにほこりが付着していたり、差し込みがゆるいと火災や感電のおそれがあります。

- 使用中、使用直後は排気筒や排気トップ周辺が高温になっているため、さわったりしない。

⚠ やけどのおそれがあります。

- 電源コードを引っぱって電源プラグを抜かない。

⚠ 電源コード断線（芯線の一部）による発熱や発火の原因になります。

お願い　危険・警告・注意の項目以外で特に守っていただく項目

5718500131 51

- 使用時の点火、使用後の消火を必ず確かめてください。

別添の『取扱説明書』の「ご利用のしかた」の項を参照してください。

- 使用中もときどき正常に燃焼していることを確かめてください。

- 機器およびリモコンの分解は絶対にしないでください。

分解禁止

- 長期間使用しない場合は、ガス栓を閉じ、水抜きを行ってください。

詳しくは、別添の『取扱説明書』の「凍結予防のしかた」の項を参照してください。

閉じる

ガス栓

- この機器専用の付属品あるいは指定のもの以外は使用しないでください。

- 本製品は家庭用ですので業務用として使用しないでください。

著しく寿命が短くなります。

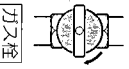
- お手入れは、手袋などで指先を保護し、機器が十分冷えてから行ってください。

お手入れ方法は、別添の『取扱説明書』の「点検とお手入れ」を参照してください。

- 飲用に使用する場合、機器内に長時間たまった水や、朝一番に使用するお湯は飲用や調理用に使用しないでください。

- 停電時・断水時の処置については、別添の『取扱説明書』を参照し、処置を行ってください。

- 外気温が極端に低くなる場合、凍結予防処置が必要です。別添の『取扱説明書』の「凍結予防のしかた」の項を参照し、処置を行ってください。

凍結による機器・配管の修理は有料です。

お願い　危険・警告・注意の項目以外で特に守っていただく項目

- 雷が発生しているときは、すぐに使用をやめ、電源プラグを抜いてください。

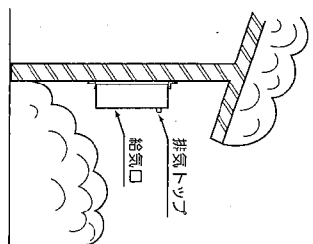
電子部品が故障する原因になります。

- 雷が遠ざかったことを確認してから、電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んで使用してください。

電源プラグを抜く！

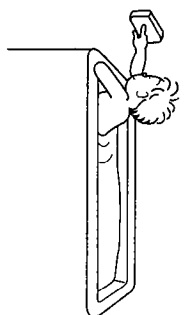
- 積雪時は機器および機器の排気トップ・給気口が雪でふさがれていないか確認してください。

不完全燃焼の原因になります。

- 雪や屋根からの落雪で機器および機器の排気トップ・給気口がふさがれている場合は、積雪・落雪対策が必要です。
  お買い求めの販売店または、もよりのガス事業者に相談してください。

- リモコンは、子どもがいたずらしないよう注意してください。

急な温度変化や熱湯でやけどのおそれがあります。

禁止

お願い

危険・警告・注意の項目以外で特に守っていただく項目

- 増改築などにより、線入・網入板ガラスを排気トップの近くに取り付けないでください。

  排気ガスの熱で、板ガラスが割れるおそれがあります。

- 機器を安心して、より長く使用していただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。

  お買い求めの販売店に相談してください。

- お出かけや、おやすみのときは、機器が消火していることを必ず確認してください。

機器コード	情報番号	通し番号	訂正番号
57185000	13	16	1